



1月の誕生会と言えば“獅子舞”。誕生会当日、「獅子舞いがどうして来るのか」「なぜお獅子は怖い顔をしているのか」を保育士が小さい獅子頭を使いながら説明した後、お囃子と共に本物(?)が登場!! ちびでかさん(4,5歳児)は、余裕の表情で願い事を書いたお札を口に入れたり、自分の頭を差し出して悪い虫を食べてもらっていました。

「キャ〜!!」「ママー!」とびっくり大泣きしたのは3・2・1歳児の子どもたち。側にいる保育士にしがみつき、よじ登りのプチパニック。でも怖いもの見たさからか目はパッチリと開いていました。2月は節分があります。これで、わかばっ子たちは今年も元気に過ごせる事でしょう。



「もこもここ」パチン!(0歳児)



でかさんがちびさんのお手伝い

年が明けて今、子どもも大人もとても落ち着いた姿を見せています。思い通りにならなくて床につつぶして泣いたり、誘ってもなかなか部屋に入ろうとしない子どもたちや、ちょっとイケナイ事を担任に見つけた時の気まずそうな表情をする様子にお互いをよくわかり合っている同士のなんとも言えない空気が漂うようになりました。

保育を通して、大人や友だちへの安心感が育ち信頼し合える存在に近づいてきています。



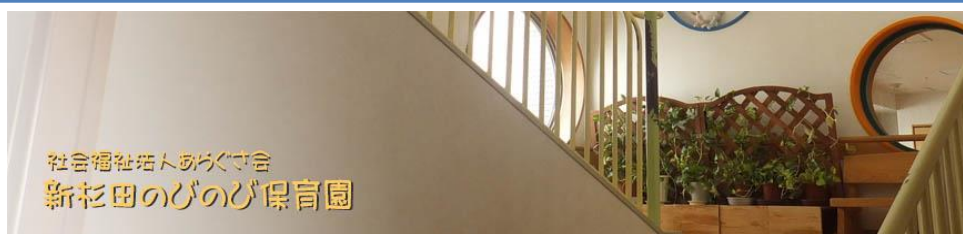
たのしく、いきをあわせて、こころひとつ



ひこうき、おーい!!(1,2歳児)

でかぞう(5歳児)さんは、いよいよ卒園に向けての取り組みが始まります。どんな“見せたい姿、なりたい自分”が出てくるのか楽しみです。

主任保育士 齊藤 有里



あらぐさ会会員の皆さん、新しい年を迎えいかがお過ごしでしょうか? 暦の上では「大寒」、1年で最も寒さが厳しい時期ですが今年の冬は春を思わせる陽気の日もありその変化に体調が追い付かないこともしばしば。

保育園は昨年12月にインフルエンザAと胃腸炎の風邪が同時に流行り、予定していたお楽しみ会がやむなく延期となり、今年1月半ばに「おたのしみ会」を実施致しました。大勢のお客様を前に緊張する場面もありましたが、楽しく手遊びを披露したり、絵本の世界の中で色々な役になりきり子どもたちは楽しそうに演じていました。今回5歳児は「くじらぐみのいきものたち」というテーマで小さい時から飼っていた虫や生き物について発表しました。保育園の近くにある「ジャムステック(海洋研究開発機構)」に何度も出かけ、深海生物や生物、地球の成り立ちなどを映像で見たり、図書室の図鑑を読んだりして子どもたちの興味がどんどん膨らみ発表に結びついていきました。「もっと知りたい」「どうしたらわかるのかな?」という子どもたちの探求心が活動を広げていき友達と一緒に取り組む楽しさを感じながら協同的な学びに繋がっていききました。

開園以来ずっと気になっていた事の1つに「音」の事がありました。賑やかさを超えて保育園全体、子どもの声大人の声様々な生活音が騒音です。現在大学の理工学部建築学科の教授をはじめ学生さん達から保育園における「音環境」について学んでいます。のびのび保育園は壁や天井などに吸音材が入っていない事から音が「響いて」しまいます。周囲が賑やかなので大きな声を出さないと聞こえない状況が悪循環となり、子ども同士あるいは大人が子どもと話をする時に「聞こえない」「聞こえづらい」状況があります。



今回ワークショップを通じて実際吸音材を用いた小空間の中に入ったり、絵本コーナーに吸音材を取り入れることで絵本の読み聞かせに集中する事が出来たり、声の大きさをタブレットを用いて見える化するなど、職員自身が実際体験し「音」に対する興味や関心を持ち、保育の中に具体的に取り入れる方法など積極的に参加していました。長時間過ごす保育園の中で静かな環境づくりや落ち着く環境づくりを保育園の課題として取り組んでいきたいと思えます。

新杉田のびのび保育園園長 山中あけみ



「だーるまさん、だーるまさん、にらめっこしましょう…あつぷつぶ」友だちと顔を見合わせて夢中で変顔を楽しむ子どもたち。絶対に笑わないぞ!と頑張る子、思わず吹きだして大笑いする子、それを見てつられて笑っちゃう子、みんなにらめっこが大好きです。



「あつぷつぶ!」「アハハハ♪」



みんなで作ったダルマさん

そんな3歳児の年明けは、ダルマ作りから始まりました。赤の画用紙に眉毛や目、髭を貼っていくと、みんな同じ形のパーツなのに、一人ひとり表情豊かなダルマができていきました。最後に黒目を描き入れる時に「お願いをしながら描くといいよ」と声をかけると「なんで?」「サンタさんみたいだね」と言いながらも真剣な顔つきになり、お願いを考えていました。



クレヨンと絵具で描いたダルマです



手作りのコマで遊ぶ子どもたち

「早く1年生になれますように」なんてずいぶん先のことを願う子もいましたが、願いを叶えてくれるダルマさんが増々好きになったようです。そして園庭では、友だちと一緒に「ダルマさんが転んだ」も楽しんでいます。

伝統行事や身の回りの事象、季節の移り変わりも経験を通して知っていき、3歳児なりに理解しながら楽しんでいます。コマ回しや羽根つきは難しく、なかなか上手くはできないけれど、年上の子の姿に憧れを持ちながら挑戦しています。その姿を見守り、声援を送り、できた時には大騒ぎして一緒に喜ぶことをこれからも大切にしながら、進級までの2ヶ月を過ごしていきたいと思えます。

3歳児担当 茂木春美保育士